



「閃光」他2点(2024年制作) photo:佐藤 航

森のアート展 Vol.22

# 揺れ動く輪郭ー動的平衡

森の  
アート展

神尾和直

2025年1月11日[土]ー3月23日[日]

開館時間:午前9時30分~午後5時

休館日:月曜日(ただし1月13日、2月24日は開館)

会場:豊田市本多記念民芸の森(田舎家、旧海老名三平宅、松近亭、管理棟)

観覧料:無料

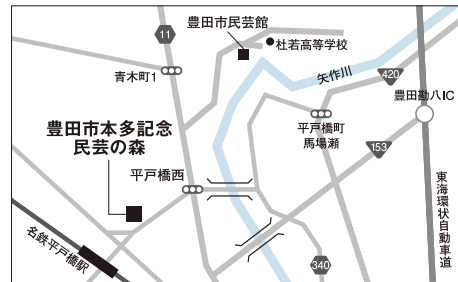
神尾和直(かみおかずなお)/1989年愛知県岡崎市生まれ。2012年武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科陶磁専攻卒業。岡崎にある「草木染め工房しかり」にて草木染めの基礎を学ぶなかで絞り染めと出会う。有松絞りの会社で5年間染色業務に携わる。現在は愛知県を拠点に活動を行う。「晩秋の有松を楽しむ会2021・2022」にて作品展示、草木染めワークショップ開催。

## 豊田市本多記念民芸の森

TOYOTASHI-HONDAKINEN-MINGEI-NO-MORI

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町石平60-1 TEL:0565-46-0001

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/mingeinomori/>



〈電車〉名鉄三河線平戸橋駅より徒歩約5分  
〈お車〉(名古屋方面から)猿投グリーンロード・枝下ICから約10分  
(多治見・岡崎方面から)東海環状自動車道・豊田動八から約10分

関連事業(※詳細は裏面をご覧ください)

- アーティストトーク ●日時:2月16日(日)午後2時~(40分程度) ●場所:田舎家(会場内を巡回予定) ●定員:15人程度 ●参加無料
- ワークショップ「みんなで作る絞り染めタペストリー」 ●日時:1月26日(日)午前10時~12時 ●開催場所:民芸館工房2 ●定員:先着15人 ●参加無料 ※詳細は裏面
- ワークショップ「自分の服を絞り染めしてみよう」 ●日時:2月16日(日)午前10時~12時45分 ●開催場所:民芸館工房2 ●定員:抽選12人 ●有料・要申込み ※申込み等詳細は裏面

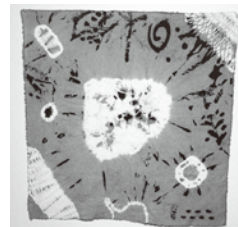
## 関連事業

### ■アーティストトーク

- 内容:作家・神尾和直さんが展示作品についてお話しします。●日時:2月16日(日)午後2時～(40分程度)
- 場所:田舎家(会場内を巡回予定) ●定員:15人程度 申込み不要 ●参加無料

### ■ワークショップ「みんなでつくる絞り染めタペストリー」

- 内容:1枚の布に参加者が自由に絞り加工やペインティングをし、草木染めをしたのち展示会場(管理棟和室)にて1月30日(木)より展示します。
- 日時:1月26日(日)午前10時～12時 ●講師:神尾和直(作家)
- 開催場所:民芸館工房2 ●定員:先着15人 ●対象:小学生以上(小学生は保護者同伴)
- 参加無料 ●事前予約・申込み不要
- 汚れても良い服装、長靴でご参加ください。



### ■ワークショップ「自分の服を絞り染めしてみよう」

- 内容:参加者が自分の服(1人1着)に有松絞りをし、民芸の森の草木で草木染めをします。
- 日時:2月16日(日)午前10時～12時45分 ●講師:神尾和直(作家)
- 開催場所:民芸館工房2 ●定員:抽選12人
- 対象:小学生以上(小学生は保護者同伴) ●参加費:2,000円
- 持込み可能な衣類:Tシャツ、シャツブラウス、ワンピースのいずれか。長袖も可。素材は綿、麻、シルク、化学繊維は混合率30%まで。濃い色の衣類は避けてください。
- 汚れても良い服装、長靴でご参加ください。
- 要事前申込み:1月31日(金)までに往復はがきまたは民芸の森HP「体験講座申込フォーム」より以下の必要事項を記入のうえお申し込みください。1回の申し込みにつき2名まで可能です。必要事項:①講座名 ②〒住所 ③受講希望者それぞれの氏名(ふりがな) ④電話番号 ⑤学年(中学生以下) ⑥持ち込む衣類の種類



### ■豊田市本多記念民芸の森とは

豊田市名誉市民・本多静雄の邸宅のあった場所です。本多静雄は、内閣技術院を退官後に郷里の豊田市に戻り、昭和21年(1946)平戸橋町に居を構えました。本多はこの場所を拠点に実業家として活躍する一方、精力的に古陶磁の研究や民芸品の収集に取り組みました。この場所は、平成5年に民芸普及のため豊田市に寄贈され、その後、敷地・建物を整備して平成28年4月に「民芸の森」として一般公開を始めました。令和6年4月からは、本多静雄が収集した資料を民芸館の「さなげ古窯本多記念館」から集約し、「本多記念民芸の森」と名称を変更。現在、駐車場を含めた民芸の森の敷地は1万4千㎡で、この広大な敷地の中には様々な建物とモニュメントが点在しています。



### ■豊田市名誉市民 本多静雄

本多静雄は、1898年豊田市生まれ。電気通信事業と科学技術の向上に献身するとともに、古陶磁器の研究に取り組み、猿投窯を発見。民藝運動の創始者柳宗悦との出会いをきっかけに民藝運動に参加。名古屋民藝協会会長や日本民藝協会役員を務め、豊田市民芸館の設立に貢献、多くの民芸品を収集し、豊田市民芸館に寄贈する。貴重な資料や出土品の収集、研究をはじめ、郷土文化の発展に貢献した功績により、1977年に豊田市名誉市民となる。1987年杉本美術館の初代館長に就任。1999年102歳で永眠。



森の  
アート展